



里浜の再生にむけて

「海辺と人のきずな」を。「未来への想い」を。



# 地域で守り・育て・使う海辺を目指して

**6.9** ミニシンポジウム  
わーくしょっぷ

2018年6月9日(土)13:00から17:00

会場：仙台市七郷市民センター

住所：仙台市若林区荒井3丁目7番地の2

**6.10** 海岸植生視察・海岸清掃  
植栽モニタリング

2018年6月10日(日)9:30から14:30

場所：仙台市岡田新浜海岸

集合：海岸公園(荒浜地区)センターハウス駐車場

【申込み】6月5日迄に、氏名・年齢・所属・連絡先を記載し、メールでお申し込み下さい。(活動保険に加入します)

【申込先】北の里浜花のかけはしネットワーク [hamahirugao.net@gmail.com](mailto:hamahirugao.net@gmail.com) (鈴木)

【参加費】6月9日、10日、両日とも無料です。



**主催：北の里浜 花のかけはしネットワーク** お問い合わせ：鈴木 080-1891-7847 e-mail：[hamahirugao.net@gmail.com](mailto:hamahirugao.net@gmail.com)

**共催：仙台市高砂市民センター 里浜ネットワーク 生態系サービスの享受を最大化する'里浜復興シナリオ'創出プロジェクト**

協力：新浜町内会 仙台市立岡田小学校 特定非営利活動法人名取ハマボウフウの会 荒浜再生を願う会 名取市立関上小中学校  
一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 根浜ハマボウフウ研究会 一般社団法人前浜おらほのとなつておき 東北学院大学平吹研究室  
KDDI株式会社(東北総支社、北海道総支社) 株式会社地域環境計画 雪印種苗株式会社 有限会社みちのくナセリ-  
3.11SAPPORO SYMPO 実行委員会

後援：東北環境パートナーシップオフィス 南蒲生 / 砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク

助成：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金



# 6.9 ミニシンポジウム わーくしょっぷ



シンポジウム会場 QR

# 6.10 海岸植生視察・海岸清掃 植栽モニタリング



集合場所 QR

2018年6月9日(土)13:00から17:00  
会場：仙台市七郷市民センター  
住所：仙台市若林区荒井3丁目7番地の2

## 1) 【イントロダクション・趣旨説明】

ピアノ弾き語り 奈緒さん

## 2) 【ミニシンポ：各団体から活動紹介・話題提供】

根浜ハマボウフウ研究会（釜石市）伊藤聡さん  
仙台市立岡田小学校、新浜町内会（仙台市）  
名取ハマボウフウの会（名取市）今野義正さん  
荒浜再生を願う会（仙台市）貴田喜一さん  
前浜おらほのとおき（気仙沼市）千葉一さん  
地域環境計画東北支社（仙台市）千布拓生さん  
コメンテーター：東北学院大学 平吹喜彦さん  
進行：北海道大学 松島肇さん

## 3) 【未来につなぐディスカッション】

ファシリテーター：北の里浜花のかけしネットワーク 溝渕清彦さん

2018年6月10日(日)9:30から14:30  
場所：仙台市岡田新浜海岸  
集合：海岸公園（荒浜地区）センターハウス駐車場  
仙台市若林区荒浜字北官林30 ※受付9時から

## ◆海岸植生の視察

ご案内：北海道大学 松島肇先生、(株)地域環境計画  
東北学院大学 平吹喜彦先生

## ◆海岸清掃

◆植栽地（八大龍王碑周囲ほか）の外来種・内陸型高茎草本  
の除去作業

## ◆植栽後のモニタリング

※一部活動は、新浜町内会・貞山運河研究所のフットパス活  
動と合流して実施します。

【持ち物】昼食、飲み物、軍手、帽子など、海辺は直射日光や  
潮風が強い場所です。身支度を整えてご参加下さい。

## PROFILE シンポジウム イントロダクション

ピアノ弾き語り 奈緒さん

宮城県白石市在住。KAWAI音楽教室講師を経て、自身のピアノ教室で指導。施  
設の音楽療法講師をしながらシンガーソングライターとしてライブ活動を行う。2018年1月  
は仙台スターダストにてライブ。毎年5月は神奈川県愛川町にてライブ活動を実施。

※代表曲「命 光る花」について

私の中学の時の恩師が、女川で被災され、1,000年後の命を守るプロジェクトを当時  
被災された生徒さんたちと今も頑張っている。自分にも何か出来ることはないか  
かと言う思いから、この曲を作り始めました。しかし、作曲の途中で、自分が脳腫瘍に  
なり視野が欠ける中、手術の前に何とかCDにしたいと頑張りました。…震災で亡くなら  
れた数多くの方々の想いと遺された方々の想い。そして自分が病と戦っていく事。命とい  
うものをリアルに感じながら仕上げた曲です。CDを作成するにあたり、ジャケットに使用さ  
せていただいたハマヒルガオの写真が、私と北の里浜花のかけしネットワークとの出  
会いのきっかけとなりました。感謝しています。



【申込み】6月5日迄に、氏名・年齢・所属・連絡先を記載しメールでお申し込み下さい。（活動保険に加入します）

【申込先】北の里浜花のかけしネットワーク hamahirugao.net@gmail.com（鈴木）

【参加費】6月9日、10日、両日とも無料です。

## 開催趣旨

2011年3月11日に東北地方を襲った津波災害から7年が経ち、甚大な被害の爪痕が残る中、徐々に沿岸域の復興が  
進みつつあります。安全を守るため、いち早く復旧された防潮堤や山土で造成された海岸松林は、一方で海を生活から分  
断したり自然生態系への影響が議論を呼びました。

このような課題を検証することはとても重要ですが、同時に出来たものをどうやって日常生活に取り入れていくか、これからの付き合い方を考え  
ていくことも必要であると私たちは考えます。

主役は行政でも研究者でもなく、市民です。海辺の自然を守り残そうとする活動、ただ残すだけではなく新たな利用価値を模索する取り組み、  
地域の自然や歴史を掘り起こしたフットパスツアー、などなど。海辺の自然・文化を守り育てることで、持続的に利用していく—それが里浜です。  
このミニシンポでは、里浜をめぐる様々な活動を多くの市民・団体と共有し、新しい仲間を作ることを目指します。

北の里浜花のかけしネットワーク 代表 鈴木 玲

# 里浜の再生にむけて

「海辺と人のきずな」を。「未来への想い」を。



# 地域で守り・育て・使う海辺を目指して